

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

福井県 坂井市

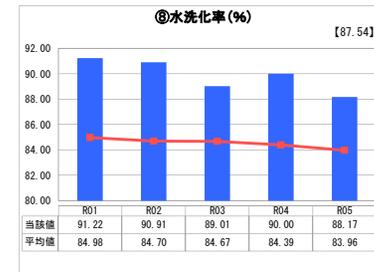
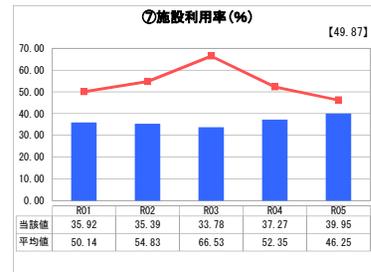
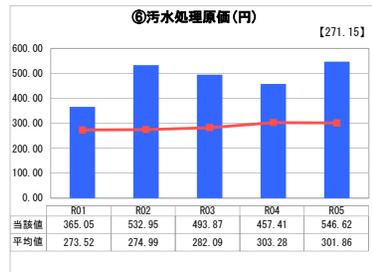
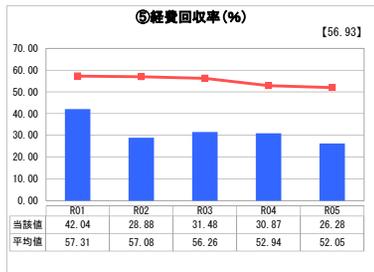
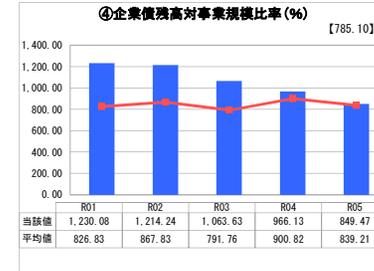
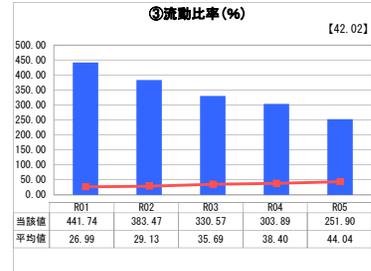
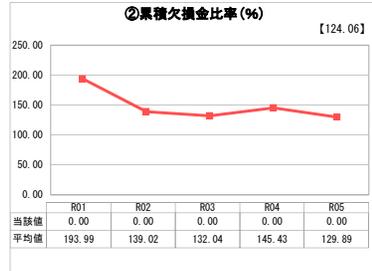
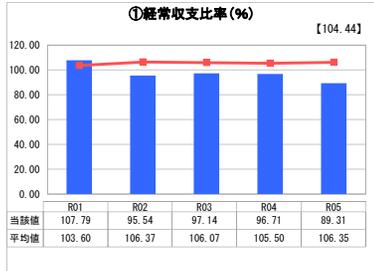
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡あたり家産料金(円)
-	84.38	0.30	74.15	2,530

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
88,996	230.70	385.72
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
262	0.38	689.47

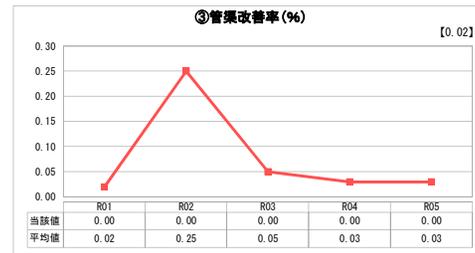
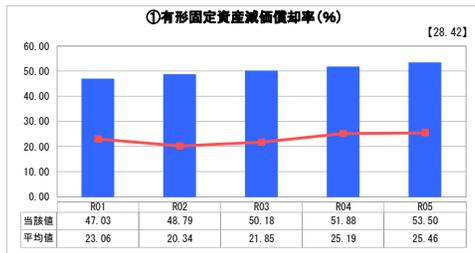
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【 令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率および⑤経費回収率について、人口減少や節水意識等により使用料が減少した。昨年度よりも若干下回り、また今年度も100%未満となり経営状況は依然厳しいままとなった。令和6年4月より、料金改定予定であるが、大幅な収入増は見込めず、使用料収入では汚水処理に係る費用を十分にまかなえないため、一般会計からの繰入金によって収支の均衡を保っている。農業集落排水使用者は年々減少傾向にあり、各費用削減など健全経営を続けていくための改善点を分析していく。②累積欠損金比率について0%を維持できている。③流動比率に関しては全国平均よりも大きく上回っており安定している。④企業債残高対事業規模比率は、全国平均値よりも高い数値になっている。今後、耐用年数を経過している処理場の設備等の更新が必要となるため、新たに企業債の借入が必要となる見込みである。⑥全国平均値、類似団体値より数値は上回っている。地理的な部分も考慮して最適な処理方法を検討していく必要がある。⑦施設利用率に関して類似団体値よりも低くなっている。施設の過大スペックや遊休状態にならないように留意し、必要であればダウンサイジングも検討していく。⑧水洗化率については、新規接続はなく、高齢化、人口減少などが重なり、これ以上の新規接続は見込めないと思われるが接続の推進には今後力を入れる必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は類似団体よりも高い数値となっており、耐用年数に近い資産が多いことが分かる。更新に向けた財産の確保や経営改善などの方法を考える必要がある。②管渠老朽化率及び③管渠改善率はともに0%であり、耐用年数を超過した管渠はない。施設や管渠に関しては更新計画に基づいた計画的な更新が必要である。

## 全体総括

坂井市の農業集落排水事業は規模が小さく、人口減少や高齢化が年々進んでいることから新規接続者は見込まれず、大幅な使用料の増加は見込めない。そのため当事業は坂井市一般会計からの繰入金により経営均衡が保たれている。また、施設設備の更新も必要になってくるため財産の確保や必要経費の見直しも行っていきたい。類似団体などの経営努力や取り組み等を参考にして、可能な限りの経営改善、健全な経営状況を目指したい。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。